

愛媛大学大学院医学系研究科
看護学専攻
博士課程（前期・後期）

Ehime University Graduate School of Medicine
Nursing and Health Science Course
Master's Program in Nursing
Doctoral Program in Nursing



2024

自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ
専門職のリーダーを輩出する



令和6年度

病院で教育を
担当する看護師
のための看護
教育プログラム

新設

博士前期課程(修士) ※募集人員10名

看護の対象となる人々への深い洞察力、幅広い視野と柔軟な思考力そして高い倫理観をもち、地域包括医療の中で高度な実践、質の高い研究マインドを持つ人材を育成



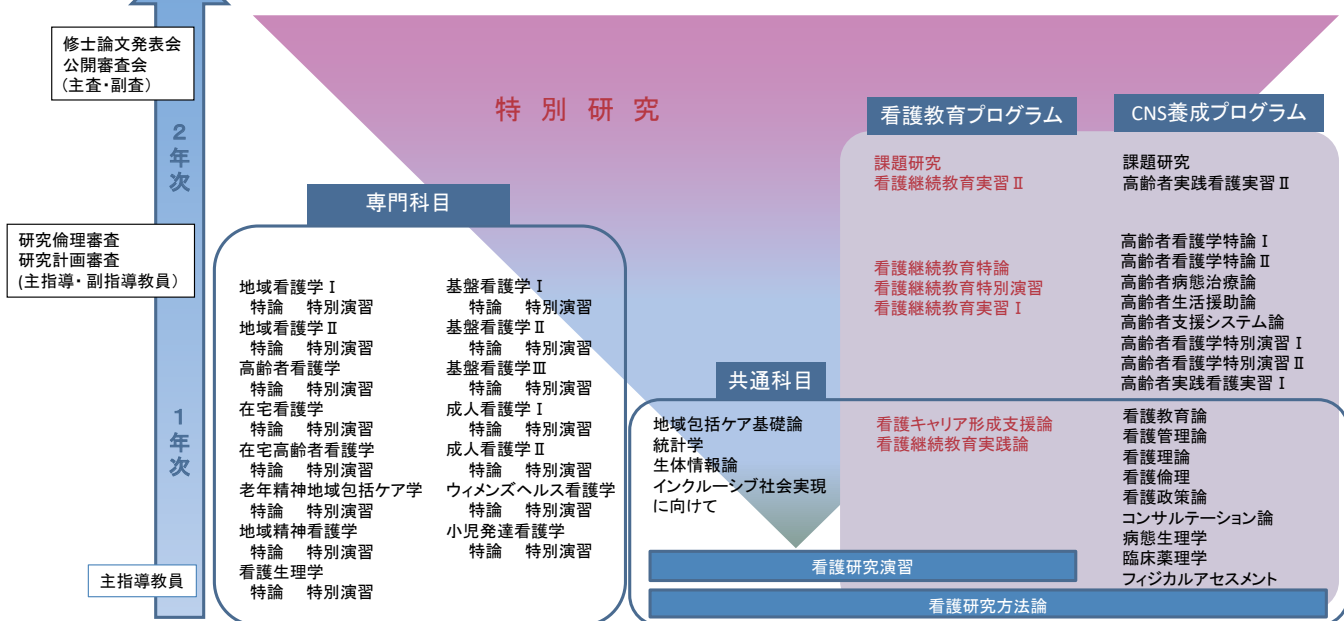
博士前期課程におけるアドミッションポリシー

看護・保健・医療における課題に取り組み、自由で先進的な考え方のできる人材を求めています。特に看護職者に限定しておらず、積極的な意欲のある学生を受け入れています。

1. 看護学の各専門領域における知識や技能の修得、看護実践や看護学の将来に対する積極的な姿勢と展望をもっている者
2. 看護学の発展に寄与し看護実践、教育指導、研究能力を高めるために主体的、建設的に学ぶことを目指す者
3. 将来にわたり自立して看護学の研究活動の継続を目指す者
4. 保健、医療、福祉などの医療チームの中核となり、チームメンバーと協働する能力をもち社会に貢献できることを目指す者
5. 人間に対するより深い愛情と洞察力をもち、支援者として成長が期待できる者

修了
学位取得

看護学専攻博士前期課程カリキュラムツリー



❁ 病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラムを令和6年度より新たに設置します。

看護教育に必要な、看護の哲学・理論・倫理について豊富な科目が準備されています。

総合大学である愛媛大学の特徴を活かして、教育学研究科のリカレント/高等科教育のスペシャリストの協力を得て、教育理論を基盤に実践に即した教育原理について学ぶ機会を設けています。

さらに、愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターで医師や看護師の卒後研修に携わる専門家の支援を得て、臨床教育・研修場面に参加する演習や、自らの施設で行う卒後教育の設計方法、教育評価、教育改善のプロセスを習得する実習を設けています。

本プログラム受講後には、看護学修士の学位が取得でき、臨床現場の看護教育担当者として即戦力になることが期待されます。

専攻の特色

- ❁ これまでの臨床経験に応じて、学生の専門性に合わせた授業科目が選択できます。
- ❁ 老人看護専門看護師養成プログラムでは、複雑で多様な健康問題を持つ高齢者とその家族が尊厳のある質の高い生活が送れるよう、高度な看護実践が行える能力が修得できます。
- ❁ 看護職のみならず多職種と共に学び研鑽し合える環境が整っています。

受験資格

- ① 大学卒業の者
または
- ② 本学の入試資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する年の3月までに22歳に達する者(最終学歴が短期大学、看護専修学校などで、看護師など(セラピスト、栄養士、歯科衛生士等も含む)の資格を取得後、実務経験を有する者)

修了の要件

博士前期課程に原則として2年以上在学し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。課程を修了した者には、**修士(看護学)**の学位を授与する。

※老人看護CNS養成プログラムの場合は、実習10単位以上を含む40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

博士後期課程（博士） ※募集人員2名

広範な学識と豊かな人間性を基盤に、先端的かつ多角的な視点で看護問題を分析し独創的な方法で解決できる、地域包括ケアを牽引できる看護職リーダーを育成。



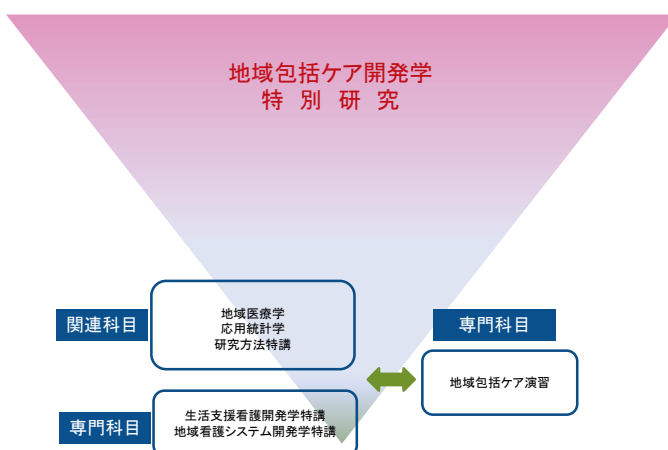
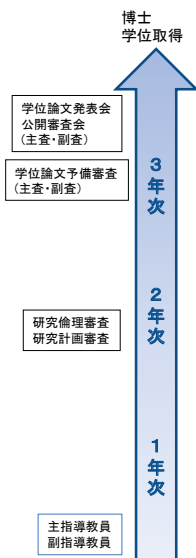
博士後期課程における
アドミッションポリシー

修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の知識や技能、能力、意欲を持つ学生を求めます。

1. 看護学領域の研究に強い関心を持ち、保健・医療・福祉の分野の専門的な知識を有する者
2. 国内外の文献を読み解く語学力と分析力を有する者
3. 教育・研究者としてのコミュニケーション能力、ならびに理論的思考力を有する者
4. 自ら問題意識を持ち自立的に研究に取り組める者
5. 研究をとらして地域包括ケアの構築に貢献する明確な意思を持つ者
6. 博士後期課程修了後に、地域包括ケアを牽引し、自らの実践領域における教育・研究をリードしていく明確なキャリア・ビジョンを持つ者

看護学専攻博士後期課程カリキュラムツリー

専攻の特色



- ✳️ 地域包括ケアを牽引できる看護職リーダーとなる高度看護職の養成への一貫した教育を行っています。
- ✳️ 地域包括ケア開発学のより専門的、かつ独創的な看護学研究を発展できるようなカリキュラムの構成となっています。
- ✳️ 地域医療の現場においてフィールドワークを取り入れ、自己の研究の関心に即した多様なフィールドワークと文献の多角的な分析を通して自己の研究課題に取り組みます。
- ✳️ 主指導教員1名、副指導教員2名という複数教員による充実した研究指導体制を設けています。
- ✳️ 愛媛大学地域協働センター中予東温と連動し、教育・研究の質を確保する環境が整っています。

受験資格

- ① 看護師の免許を有する者
ならびに
- ② 修士の学位又は専門職学位有する者。または、本学の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する年の3月までに24歳に達する者

修了の要件

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位14単位以上（専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて学位論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること。課程を修了した者には、**博士（看護学）**の学位を授与する。

Message 博士前期課程

自身の看護を振り返り、見つめ直すことで
新しい世界が広がる



福山智美
Fukuyama Satomi

老人看護専門看護師
養成プログラム
令和3年度修了

専門性の高い先生方の丁寧な指導や院生とのディスカッションを通じ、看護理論やモデルを基に看護を振り返ることで、看護師としてだけでなく自分自身を見つめ直し成長できた2年でした。また、看護管理や倫理など多角的な内容を学ぶことで、実習では複雑で困難な問題を抱える対象の方へ、少しずつですが広い視野を持ってアセスメントすること、患者家族にとって何が最善のケアなのか、医療チームで解決するために必要なことは何かを考えることへと発展させることができました。一旦臨床から離れて学ぶことで得られる看護の景色があります。そして、同じ悩みを共有し、励まし合えた同級生との出会いは大きな収穫です。今後は、学んだことを臨床に生かした活動ができるよう目指していきたいです。

Message 博士後期課程

母校で看護の原点に立ち返り、さらなる学びと
探求ができる



竹下裕子
Takeshita Hiroko
令和2年度入学

私は本学看護学科を平成11年に卒業（2期生）し、現在は看護教員として勤めています。看護職に就いて20年が経過し、子育てに一息つけたと思えた時、自分が看護職として折り返し地点を過ぎたことを自覚しました。現状を振り返ると、私には看護の原点を見つめ直す時間が必要だと感じていました。そのとき幸運にも母校に博士後期課程が開設されることを知り、進学を決めました。博士後期課程では、終わりの見えない問いに向き合い続けてゆくような、それは「考え抜く」ことにとことん没頭してゆくような感覚で、これまでにない充実した時間です。研究課題に取り組む過程では、看護学研究に精通された先生方が温かく見守りつつ具体的に進むよう導いてくださいます。私は大阪府在住ですが、距離を感じず自由に学ぶことが可能です。博士後期課程で、自らの研究成果を社会に発信していけるような力を身につけたいと思います。

●大学院を目指す方へ

令和5年度入学試験実施スケジュール

	1回目	2回目※
募集要項公表	7月	11月
入試説明会	6月	10月
入学資格審査申請期限*	7月末	11月末
出願	8月	12月
試験日	9月上旬	2月上旬
合格発表	10月上旬	2月中旬

*入学資格審査対象者のみ

※2回目の入試は、1回目の入試で定員に満たない場合のみ実施します。

●入学者選抜方法

	選抜方法	受験資格	試験科目
博士前期課程	一般選抜	①大学卒業の者 または ②本学の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する年の3月までに22歳に達する者(事前に資格審査があります)	● 筆記試験 (外国語および小論文) ● 口述試験
	社会人特別選抜	一般選抜の受験資格を有する者で <u>2年以上の勤務経験のある者</u> (老人看護専門看護師養成プログラムを希望する場合は、実務経験が通算5年以上必要です)	● 筆記試験 (小論文のみ) ● 口述試験
博士後期課程	一般選抜	①看護師の免許を有する者 ②修士の学位または専門職学位を有する者および入学する年の3月までにその見込みがある者	● 筆記試験 (外国語のみ) ● 口述試験

●入学料および授業料

区分	納付金額
入学料	282,000円
授業料	267,900円(前期分) 535,800円(年額)

※入学料及び授業料の額は、令和5年度納付額。

働きながら学びやすい環境の充実

昼夜開講制

仕事を続けながら大学院進学ができるように、平日に6時限(18:00~19:30)、7時限(19:40~21:10)を設け、必要に応じて土曜日にも開講し、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)で修了できるように授業を行います。

長期履修制度

職業、家事、育児、介護などの事情をもつ学生のために、標準修業年限を超えた年数で履修できる制度です。授業料は、標準修業年限の学生が負担する額を、長期履修の期間で按分した額が年額となります。

遠隔授業の実施

遠方にお住まいの学生のために、Microsoft Teamsを用いてオンライン授業を実施しています。通学に時間をとられないため、愛媛県外からの受講も可能です。

病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラム 愛媛大学独自の給付型奨学金制度

本プログラムは2年間(長期履修制度を利用した場合3年間)で講義・演習・実習の合計30単位の修得が求められます。集中して学習できる環境を提供する為に、財政的な支援制度を設けました。

給付内容

- 1人あたり 入学金、授業料(半額) 計549,900円
- 毎年、上限2名まで



愛媛大学大学院
医学系研究科看護学専攻

〒791-0295 愛媛県東温市志津川454
TEL:089-960-5868(大学院チーム)

愛媛大学ホームページ

<https://www.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻/医学部看護学科ホームページ

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/nursing/>